



スペインカンゾウ (*Glycyrrhiza glabra*) はマメ科に属する多年生草本です。甘草の基原植物の一つで薬局方にも記載されている重要な植物の一つです。スペインカンゾウはスペインから西の地域で、アフガニスタン、中国西部やモンゴル西部辺りまで自生しています。それより東の地域にはウラルカンゾウが自生しています。

スペインカンゾウは漢方薬にも配合されますが、グリチルリチンの抽出原料とされる場合が少なくありません。

甘草は70%以上の漢方薬に配合される最も重要な生薬の一つで、グリチルリチンの含量を2%以上と規定しています。このことからグリチルリチンが有効成分の一つであることは間違いありませんが、多いと偽アルドステロン症を引き起こす成分でもありますので、漢方薬の投与には注意が必要になります。本画はターピンにより1700年代末に描かれたもので手彩色がほどこされています。